

# 尾張旭市の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (平成29年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 27年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
28年度	83,033	22,944,050	684,650	4,534,345	19.8	20.2

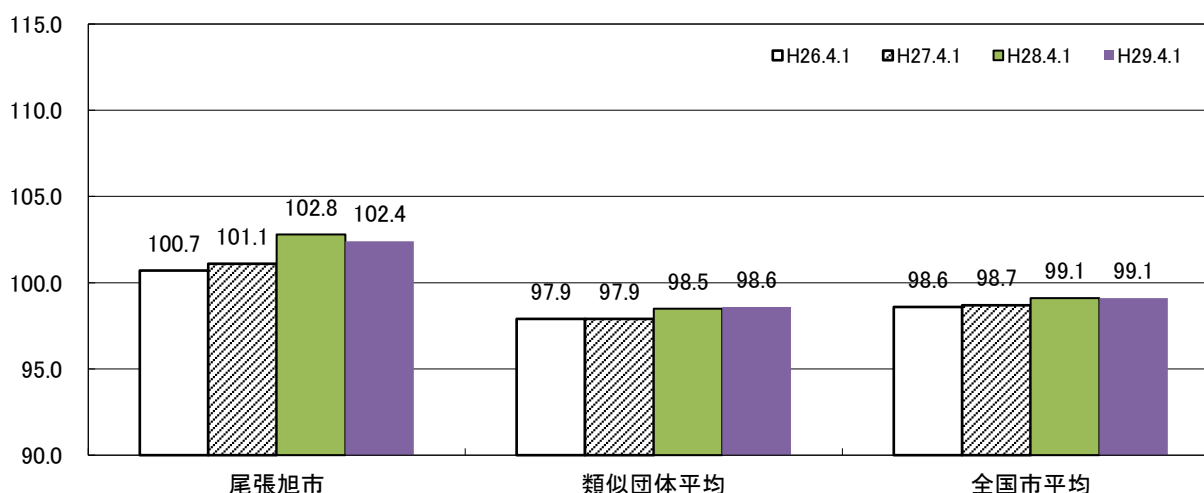
### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				計 B
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
	人	千円	千円	千円	千円	
28年度	553	1,835,494	448,001	767,934	3,051,429	

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。  
 2 職員数は、平成28年4月1日現在の人数です。  
 3 給与費については、任期付き短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

(参考)1人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 1人当たり給与費
千円	千円
5,518	6,193

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。  
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

※ 平成29年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

退職者の増加に伴う昇格の低年齢化が以前から進んでおり、階層別の平均給与が上昇していることがあげられます。しばらくはこの状況が続く見込みとなりますが、役職等の平準化が図られることによって、改善されていく予定です。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】 国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされています。

① 給料表の見直し

[ 実施 未実施 ]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日  
（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げました。若年層については引下げはなく、高齢層については官民の給与差を考慮して、最大4%程度引下げを行いました。激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施しました。他の給料表について、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施しました。

② 地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）国基準6%に対し、尾張旭市においても6%を支給。  
（実施時期）見直し以前と同率のため、変更なし。

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施しました。また、55歳以上の職員に対して、昇給を停止する措置を実施しました（平成27年4月1日実施。）。

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成29年4月1日現在）

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
尾張旭市	40.8歳	316,900円	389,537円	369,549円
愛知県	42.0歳	326,313円	431,486円	384,631円
国	43.6歳	330,531円	—	410,719円
類似団体	41.4歳	311,581円	391,382円	356,601円

※ 「平均給与月額」には、時間外勤務手当等が含まれており、年度により臨時的、緊急的な業務の増減に影響されます。

② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
尾張旭市	53.5歳	35人	298,100円	345,197円	329,472円	—	—	—	—
うち清掃職	52.7歳	13人	305,400円	374,154円	342,223円	廃棄物処理業 従業員	45.7歳	293,000円	1.28
その他	54.0歳	22人	293,400円	328,994円	322,159円	—	—	—	—
愛知県	52.9歳	300人	323,481円	388,055円	368,413円	—	—	—	—
国	50.6歳	2,722人	286,833円	—	328,360円	—	—	—	—
類似団体	50.3歳	26人	325,366円	377,924円	358,180円	—	—	—	—

区分	(参考) 年収ベース (試算値) の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
尾張旭市	—	—	—
うち清掃職	5,982,800円	4,023,000円	1.49
その他	—	—	—

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。  
(平成26～28年の3ヵ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当等の諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

(2) 職員の初任給の状況(平成29年4月1日現在)

区分		尾張旭市	愛知県	国
一般行政職	大学卒	185,800円	185,700円	179,200円
	高校卒	151,500円	151,200円	147,100円
技能労務職	高校卒	159,900円	140,100円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成29年4月1日現在)

区分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	268,386円	373,417円	413,033円	421,525円
	短大卒	237,700円	—	378,150円	—
技能労務職	高校卒	—	305,550円	347,800円	—
	中学卒	—	300,100円	308,400円	348,600円

(注) 数値の記載がない部分は、該当者がいない場合です。

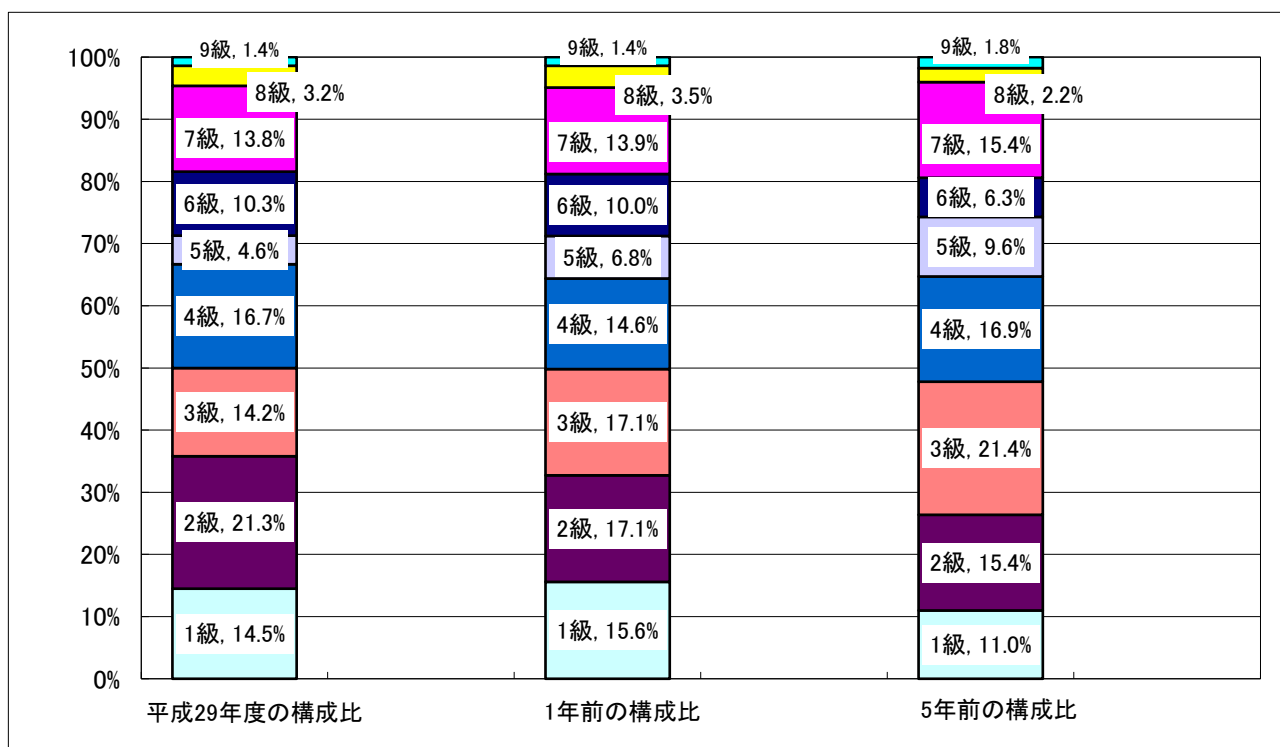
### 3 一般行政職の級別職員数の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成29年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
9級	部長	4人	1.4%	458,000円	527,100円
8級	部長・部次長	9人	3.2%	407,700円	468,200円
7級	課長	39人	13.8%	362,300円	444,500円
6級	課長補佐	29人	10.3%	318,500円	409,800円
5級	課長補佐	13人	4.6%	288,000円	392,600円
4級	係長	47人	16.7%	262,000円	380,600円
3級	主査	40人	14.2%	228,900円	349,600円
2級	主事	60人	21.3%	192,700円	303,800円
1級	主事・主事補	41人	14.5%	142,600円	247,100円

(注) 1 尾張旭市職員の給与に関する条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への人事評価の活用状況（尾張旭市）

平成29年4月2日から平成30年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
	イ. 人事評価を活用している	○		○
活用している昇給区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分	○		○	○
上位、標準の区分		○		
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）	/		/	
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

尾張旭市	愛知県	国
1人当たり平均支給額(28年度) 1,620 千円	1人当たり平均支給額(28年度) 1,771 千円	—
(28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 (1.45) 月分 (0.80) 月分	(28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 (1.45) 月分 (0.80) 月分	(28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 (1.45) 月分 (0.80) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 3～20% ・管理職加算 4～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

##### (参考) 勤勉手当への人事評価の活用状況 (一般行政職) (尾張旭市)

平成29年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	昇給可能な成績率	昇給実績がある成績率	昇給可能な成績率	昇給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○		○	○
上位、標準の成績率		○		
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ (一律)	/		/	
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

##### (2) 退職手当 (平成29年4月1日現在)

尾張旭市			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他加算措置	定年前早期退職特例措置 (2～45%加算)		その他加算措置	定年前早期退職特例措置 (2～45%加算)	
1人当たり平均支給額	3,547千円	22,124千円			

(注) 1人当たり平均支給額は、尾張旭市の退職手当事務を処理している愛知県市町村職員退職手当組合における前年度の退職者の平均支給額です。

##### (3) 地域手当 (平成29年4月1日現在)

支給実績 (28年度決算)	126,070 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (28年度決算)	227,975 円
支給率	支給対象職員数
6 %	561 人
	国の制度 (支給率)
	6 %

## (4) 特殊勤務手当 (平成29年4月1日現在)

支給実績 (28年度決算)		6,304	千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (28年度決算)		86,356	円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (28年度)		13.2	%
手当の種類 (手当数)		5	種類
手当の名称	主な支給対象職員	支給実績 (28年度決算)	左記職員に対する支給単価
税務手当	市税の徴収のため庁外において滞納整理に従事した職員	85千円	勤務1日につき300円
防疫手当	感染症 (四類感染症を除く。以下同じ。) 又は家畜伝染病が発生し、又は発生のおそれがある場合において、感染症の患者若しくは疑似症患者の救護、当該病原体の付着した物件若しくは付着の疑いのある物件の処理又は家畜伝染病の患畜若しくは疑似患畜に対する防疫作業に従事した職員	0千円	勤務1日につき500円
清掃手当	塵芥収集作業に従事した職員	3,048千円	勤務1日につき900円
消防出動手当	隊員として火災及び救急に出動した消防職員	3,171千円	火災出動1回につき500円 救急出動1回につき200円
行旅死亡人取扱い手当	行旅死亡人の死体処理に関する作業に従事した職員	0千円	1件につき2,500円

## (5) 時間外勤務手当

支給実績 (28年度決算)	105,096	千円
職員1人当たり平均支給年額 (28年度決算)	190	千円
支給実績 (27年度決算)	119,772	千円
職員1人当たり平均支給年額 (27年度決算)	220	千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績 (28年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数 (管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。) であり、短時間勤務職員を含む。

## (6) その他の手当 (平成29年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (28年度決算)
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員の職のうち、課長補佐相当職以上にある職員 …49,600円～91,200円	—	—	96,684千円	711千円

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (28年度決算)
扶養手当	配偶者…10,000円 子…8,000円 父母等…6,500円 配偶者がいない場合 …父母等のうち1人目は9,000円 扶養親族で16～22歳の子及び孫 …上記の額に5,000円を加算	同じ	—	47,911千円	231千円
住居手当	借家…27,000円 (最高支給限度額)	同じ	—	31,353千円	307千円
通勤手当	交通機関利用者 最高支給限度額…55,000円 交通用具(自動車等)利用者 住居から勤務場所まで経路 距離に応じて支給 …2,000円～31,600円	同じ	—	22,334千円	52千円
休日勤務手当	祝日及び年末年始において、 正規の勤務時間中に勤務する ことを命ぜられた職員 …1時間当たりの給与額× 125/100～150/100×時間数	—	—	12,118千円	238千円

## 5 特別職の報酬等の状況（平成29年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給料	市長	983,000円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
	副市長	788,000円	1,061,000円 /	465,000円
報酬	議長	533,000円	990,000円 /	357,000円
	副議長	463,000円	653,000円 /	294,000円
	議員	425,000円	591,000円 /	266,000円
期末手当	市長	(平成28年度支給割合)		
	副市長	3.15月分		
退職手当	市長	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期)		
	副市長	給料月額 × 在職月数 × 39.2/100	18,496,128円	任期ごと
		給料月額 × 在職月数 × 23.5/100	8,888,640円	任期ごと

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

## 6 職員数の状況

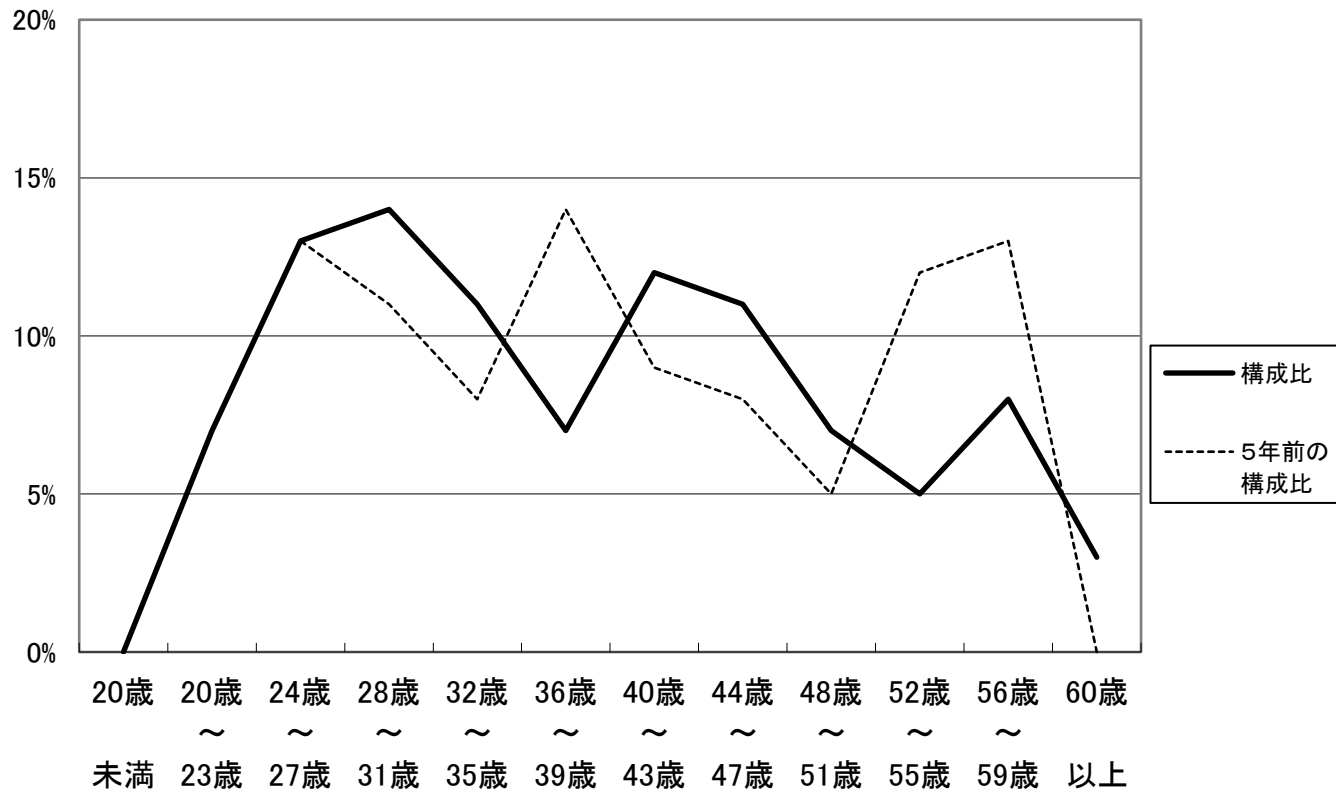
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

区 分		職 員 数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成29年	平成28年			
普通会計部門	一般行政部門	議 会	6	6	0	人事課付育休者の復職 徴税担当職員減 保育事務に係る業務増 全国植樹祭推進室の新設&派遣 商工事務に係る業務増 下水道課職員の定員管理区分の見直し
		総務企画	107 (0)	110 (4)	▲3 (▲4)	
		税 務	35 (1)	36 (0)	▲1 (1)	
		民 生	181 (1)	169 (2)	12 (▲1)	
		衛 生	42	42	0	
		労 働	2	2	0	
		農林水産	9	6	3	
	商 工	3	2	1		
	土 木	41 (1)	44 (1)	▲3		
		小 計	426 (3)	417 (7)	9 (▲4)	<参考> 人口10,000人当たり職員数 51.30人 類似団体の人口10,000人当たり職員数 48.84人
政特別部門	教 育	51 (0)	52 (2)	▲1 (▲2)	部次長級職員減	
	消 防	84 (1)	84 (0)	0 (1)		
	小 計	135 (1)	136 (2)	▲1 (▲1)		
	小 計	561 (4)	553 (9)	8 (▲5)	<参考> 人口10,000人当たり職員数 67.56人 類似団体の人口10,000人当たり職員数 62.78人	
公営企業等 会計部門	水 道	13	14	▲1	フルタイム再任用⇒非常勤嘱託員への配置換え 下水道課職員の定員管理区分の見直し 保険医療課付派遣職員の派遣終了 任期付職員減	
	下 水 道	16	12	4		
	国 保	11	10	1		
	そ の 他	14	17	▲3		
	小 計	54 (0)	53 (0)	1		
合 計	615 (4)	606 (9)	9 (▲5)	<参考> 人口10,000人当たり職員数 74.07人		
	[630]	[630]	[0]			

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数（教育長を含む）であり、地方公務員の身分を有する  
休職者、派遣職員等を含み、臨時または非常勤職員を除いています。  
2 ( )内は、再任用短時間勤務職員であり、外書きです。  
3 [ ]は、条例定数の合計です。



(2) 年齢別職員構成の状況（平成29年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	人 0	人 46	人 81	人 89	人 69	人 42	人 71	人 67	人 46	人 31	人 52	人 21	人 615

(3) 職員数の推移（公営企業職員含む）

(単位：人・%)

部門別	年度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	過去5年間の増減数(率)
	一般行政	392	387	402	417	417	426	
特別行政	125	127	129	128	136	135	10 (108.0%)	
公営企業等会計計	53	53	53	50	53	54	1 (101.9%)	
総合計	570	567	584	595	606	615	45 (107.9%)	

- (注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数です。  
 2 職員数は一般職に属する職員数（教育長を含む）です。

## 7 公営企業職員の状況（水道事業）

### (1) 職員給与費の状況

#### ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実質 収支	職員給与費 B	総費用に占める職員給 与費比率 B/A	(参考) 27年度の総費用に占 める職員給与比率
28年度	千円 1,920,282	千円 247,684	千円 57,511	% 3.0	% 3.1

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費18,238千円を含みません。

区分	職員数 A	給 与 費				1人当たりの給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
28年度	人 14	千円 50,415	千円 11,592	千円 19,790	千円 81,797	千円 5,843

(注) 1 職員手当には退職給与金を含みません。

2 職員数は、平成29年3月31日現在の人数です。

(参考) 市町村平均 1人当たりの給与費 千円 6,929
--

#### イ 特記事項

なし。

### (2) 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（平成29年4月1日現在）

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
尾張旭市(水道事業)	40.6歳	310,531円	394,148円
団体平均	44.1歳	367,407円	576,692円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含みます。

### (3) 職員の手当の状況

#### ア 期末手当・勤勉手当

尾張旭市（水道事業）		尾張旭市一般行政職	
1人当たり平均支給額（28年度） 1,414 千円		1人当たり平均支給額（28年度） 1,620 千円	
(28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分		(28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分	
勤勉手当 1.70 月分 (0.80) 月分		勤勉手当 1.70 月分 (0.80) 月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%	

(注) ( )内は、再任用短時間勤務職員に係る支給割合です。

イ 退職手当（平成29年4月1日現在）

尾張旭市（水道事業）			尾張旭市一般行政職
（支給率）	自己都合	応募認定・定年	同じ
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	
勤続35年	41.325月分	49.59月分	
最高限度額	49.59月分	49.59月分	
その他加算措置	定年前早期退職特例措置 （2～45%加算）		
1人当たり平均支給額	3,547千円	22,124千円	

（注）1人当たり平均支給額は、尾張旭市の退職手当事務を処理している愛知県市町村職員退職手当組合における前年度の退職者の平均支給額です。

ウ 地域手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（28年度決算）		3,206 千円
支給職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）		229,000 円
支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度（支給率）
6%	13人	6%

エ 時間外勤務手当

支給実績（28年度決算）	4,090 千円
職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）	292 千円
支給実績（27年度決算）	3,577 千円
職員1人当たり平均支給年額（27年度決算）	275 千円

（注）職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（28年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

オ その他の手当（平成29年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績（28年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員の職のうち、課長補佐相当職以上にある職員 …49,600円～91,200円	同じ	—	2,042千円	681千円
扶養手当	配偶者…10,000円 子…8,000円 父母等…6,500円 配偶者がいない場合 …父母等のうち1人目は9,000円 扶養親族で16～22歳の子及び孫 …上記の額に5,000円を加算	同じ	—	982千円	196千円
住居手当	借家…27,000円 （最高支給限度額）	同じ	—	459千円	153千円

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (28年度決算)
通勤手当	交通機関利用者 最高支給限度額…55,000円 交通用具(自動車等)利用者 住居から勤務場所まで経路 距離に応じて支給 …2,000円～31,600円	同じ	—	814千円	81千円